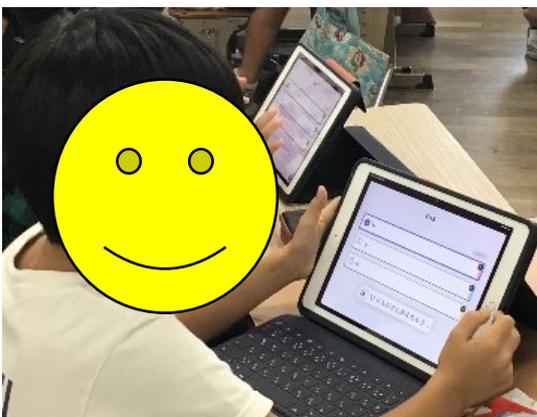
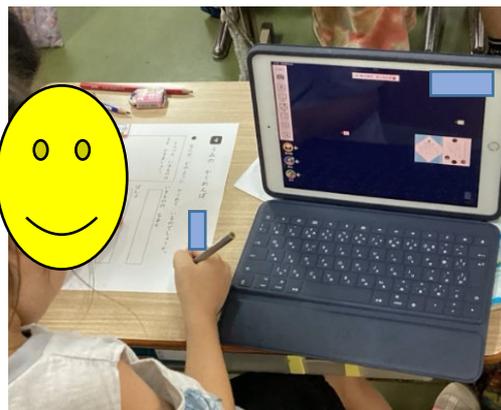
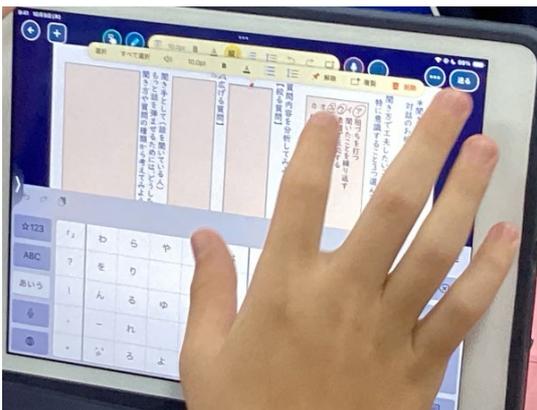
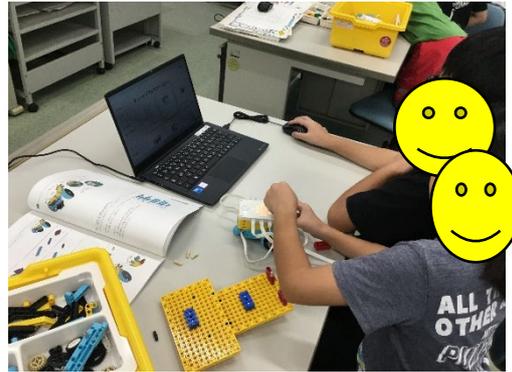


令和7年度 ICT 支援訪問 ICT 活用事例集



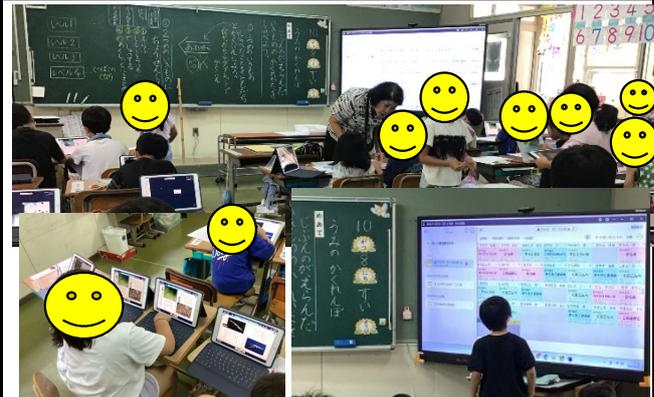
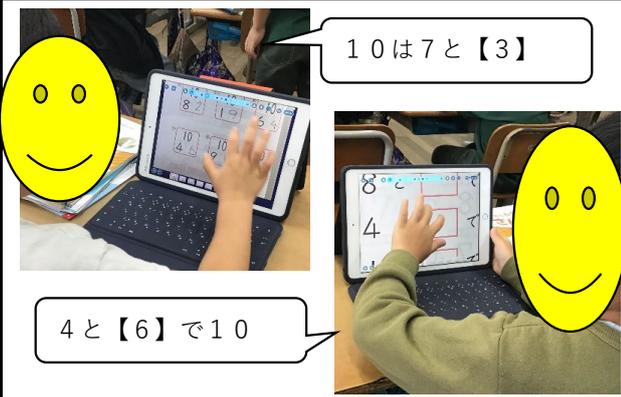
浦添市立教育研究所

令和7年度 ICT活用好事例集【小学校低学年】



【1年 図工】 「おって たてたら」

児童1人1人の作品をロイロノートの資料箱に提出させ、誰が何をつくっていたのか全体共有を図っている様子です。他者の作品をみながら、お互いに感想を述べている場面も見られました。また、普段から積極的にICTを活用しながら授業を行っていることが伺えました。（浦城小）



【1年 算数】

ロイロノートで復習プリントを配布し、児童は手書き入力で問題に取り組んでいた。プリントは、出題形式を変えながら次第に難易度を高めていく等の工夫があり、子供達は意欲的に取り組む姿が見られた。（神森小）

【1年 国語】 「うみの かくれんぼ」

国語で学習したことをもとに、教科書にはない「自分で選んだ生き物のかくれ方」を調べ、ロイロノートを活用してまとめ・共有していた。レベル分けしてテーマが設定が、子供の意欲の向上につながっていた。（宮城小）



【2年 道徳】

授業参観時には教材の挿絵を拡大提示し、登場人物の心情に迫っていた。道徳において挿絵は重要で、自由に拡大縮小できる電子黒板のよさが、心情理解に繋がっていた。範読の場面は見ることはできなかったが、デジタル教科書の範読を利用して、その間に児童の見とりに集中できるというメリットも活用できるはずである。（神森小）

【1年 生活科】 「あきであそぼう」

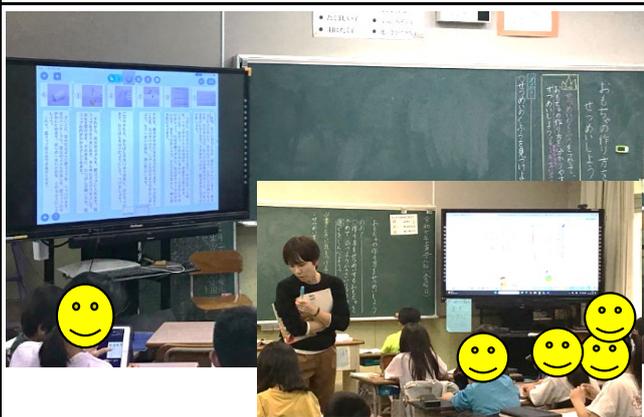
児童の作品を写真に撮り、電子黒板に提示しながら、あきのものでおもちゃをどのように作ったか全体共有した場面です。他の作品を見ながら、自分がつくりたいものを試したり、足りないもの何か、しっかり考えながら活動している様子が伺えました。（仲西小）

令和7年度 ICT活用好事例集【小学校低学年】



【2年 算数】

ロイロノートのテスト機能を活用し、掛け算の復習に取り組んでいた。ゲームモードでの利用であったこともあり、子供達は意欲的に取り組んでいた。回答は全員で声をそろえて行うなど、全員の足並みをそろえる工夫も見られた。(神森小)

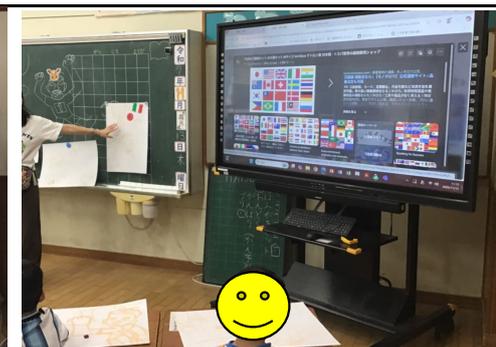
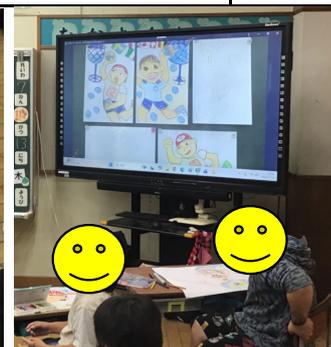


【2年 国語】「おもちゃのつくり方を説明しよう」

電子黒板でデジタル教科書を提示したり、ロイロノートで文章校正を分けて示したりしながら、児童が学習のめあてに向かって安心して学べる工夫が見られました。デジタル教科書やロイロノートを積極的に活用し、児童が安心して学べる環境を整えている点は、学習基盤としてのICTの活用を明確に示すものです。これは、児童一人ひとりの多様な学習の状況に応じる「個別最適な学び」を実現し、「どの児童生徒もわかる授業」を通じて自己存在感の感受を支える優れた実践です(前田小)

【2年 国語】「お話のさくしゃになろう」

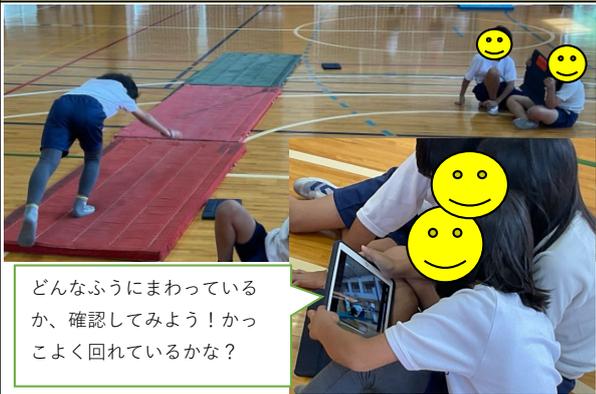
自分で物語を書くだけでなく、物語の展開「はじめ」「中」「終わり」や情景描写を意識して、文章を書くことを意識させた授業構成で、積極的に学習用端末を活用させているようすが伺えました。学習進行表を用いながらロイロノートを随所に活用することで、個別最適化された学び、子ども同士の共有を意識した協働学習となり、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えて書く力を育てていく単元となっている活用事例です。(仲西小)



【1年 図工】

「運動会の絵」の制作で、子供が各自で描きたいポーズを撮影し、それを見て描くという取り組みは、タブレットを単なる記録媒体としてではなく、自己表現のための「参考資料」を生み出す道具として使いこなしている素晴らしい例です(牧港小)

令和7年度 ICT活用好事例集【小学校中学年】



どんなふうにもわっているか、確認してみよう！かっこよく回れているかな？



2016年の数は大体〇〇人で・・・。

【3年 体育】（マット運動）

「どうやったらかっこよく回れるか」というテーマで、前転や側転、後転などに挑戦し、グループで動画を撮影する場面です。児童はロイロノートを積極的に活用しながら授業を進めており、動画を撮影する際にはどんなことに気をつけたらいいか確認していました。最後は振り返りの視点を設定され、終末場面では全体共有をしていました。（浦添小）

【3年 社会】「事故や事件からまちを守る」

グラフの読み取りを行う場面で、電子黒板で棒グラフから読み取ったことを全体共有していました。「もっと読み取れることはないかな？」と教師の発問で、子どもたちが近くの人と議論しながら、教科書やタブレット端末で調べたことを基に協働している場面も見られた事例です。（仲西小）



【3年 外国語活動】「なんのかたちがほしいかたずねよう」

授業前半はペアで、「what do you want?」「How many?」といったどんな形がいくつほしいのか、そんなやりとりを行った場面でした。ロイロノートで準備された形を動かしたり、会話をしながら楽しんでおりました。授業後半では、形を作成したり、それらを提出箱で共有したりと、どの児童も意欲的に取り組み、スムーズに活動できている様子から、ICTを活用して普段から使用していることがうかがえました。（浦添小）



「浦添城址」の場所はどこなのかな・・・。

「浦添ようどれ」は誰かの家だったのかな・・・調べてみると、英祖王って出てきました。英祖王について調べてみよう。

【4年 社会】「昔から今へと続くまちづくり」（浦添市編）

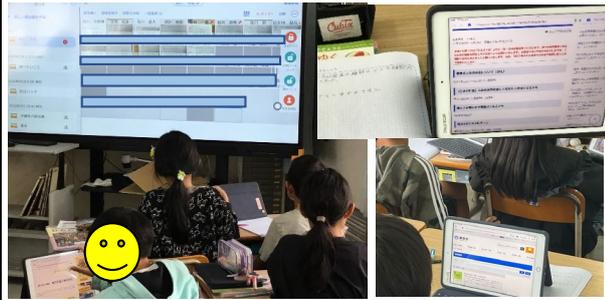
「昔の浦添市について調べよう」というテーマで、浦添市で有名な場所はどこなのかな、全体共有し、自分で気になった場所を調べている場面です。副教材とICTを活用して、その場所場所についてグループやペアで調べたことを伝えるために活用しようすから、積極的にICTを活用させていることが伺えます。（仲西小）

令和7年度 ICT活用好事例集【小学校中学年】



【4年 外国語活動】

電子黒板からロイロノートのテスト機能を使って投影し、AETの先生とクイズ形式で全員が楽しんでいました。1つ1つのクイズが終わるごとに、手拍子にあわせて発音練習も兼ねてやっており、意欲喚起を図る取り組みの事例です。また、子どもたちも普段からICTを積極的に活用し、メリハリがある授業でした。(浦城小)



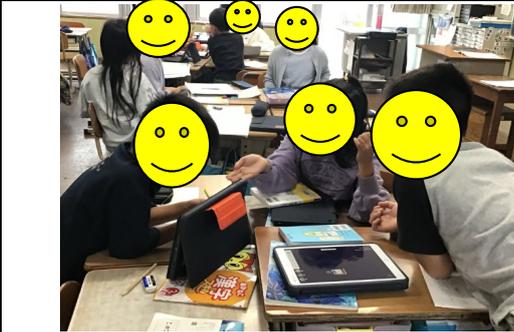
【4年 社会】「新聞づくり～ごみ処理と利用～」

ごみ処理を行う上で、どんなことが起きるのかを自分なりに問いをたて予想し、調べたいことをまとめようという授業でした。その後の実生活や他教科に広げられる学びとなるよう、単元をデザインしております。子どもたちはiPadの活用を通して、家庭のごみの分け方・出し方についてインターネットや教科書を利用して調べ、ノートにまとめたりしていました。(沢岨小)



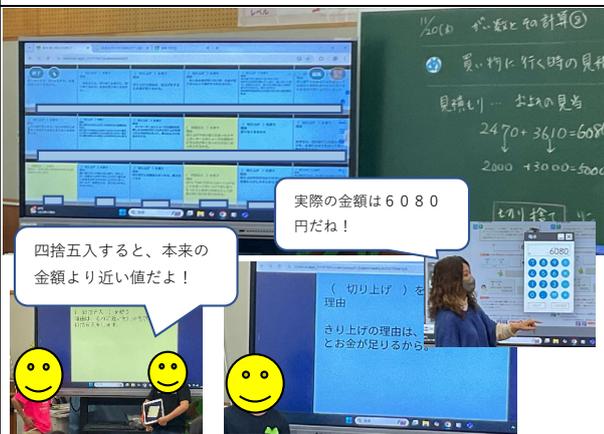
【4年 社会】「ハザードマップを作ろう」

夏休みにiPadで撮影した通学路の危険個所の写真をロイロノートで共有し、その危険性について説明していた。iPadの携帯性を生かした活用の仕方の好事例です。(宮城小)



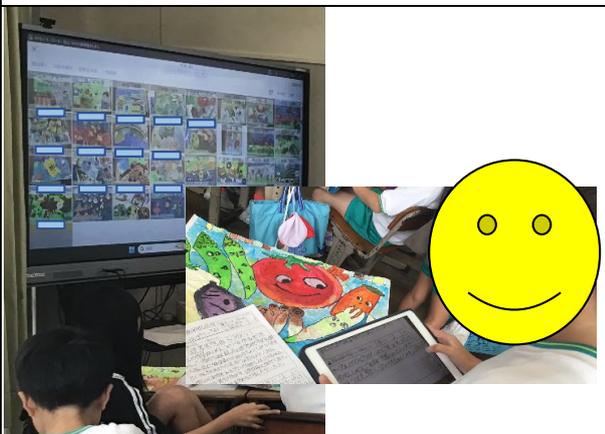
【3年 国語】「ことわざと慣用語」

ことわざを劇化する活動に取り組んでいました。タブレットを活用しことわざの意味や由来から、児童は夢中になって学習していました。タブレットを学習基盤として活用し、情報収集・探究を通じて児童が夢中になって学習に取り組む姿は、情報活用能力の育成を推進するGIGAスクール構想の理念と合致します。劇化という活動は協働的な学びを促し、思考力・判断力・表現力等の育成に貢献しています。(前田小)



【4年 算数】「がい数とその計算」

買い物に行くときの見積りの仕方を考えようという内容です。見積りの際に、切り上げ、切り捨て、四捨五入のどちらが妥当なのか、児童の考えをロイロノートに共有し(色別で)、子どもたちの発表から全体共有していました。普段からよく活用していることが伺えます。(当山小)



【3年 図工】

読書感想画における自分の作品の写真を撮ってロイロノートの提出箱へ提出。一覧を表示し鑑賞につなぐ。さらに、コメントシートプリントに手書きした後、写真を撮って提出。デジタルとアナログの効果的な融合が行われていた。(神森小)

令和7年度 ICT活用好事例集【小学校中学年】



【4年 国語】 「工芸品の魅力を伝えよう」

デジタル教科書で一斉指導、タブレットを活用しての個別最適な学習、書籍による学習が融合したハイブリッドな学びが展開されていました。タブレットを活用した個別最適な学習は、GIGAスクール構想が目指す学びの実現の核心であり、最も評価されるべき点の一つです。一斉指導、個別学習、書籍による学習が融合したハイブリッドな指導は、多様な学習形態を可能にする教科指導におけるICT活用の先進的な事例です。（港川小）



【4年 算数】

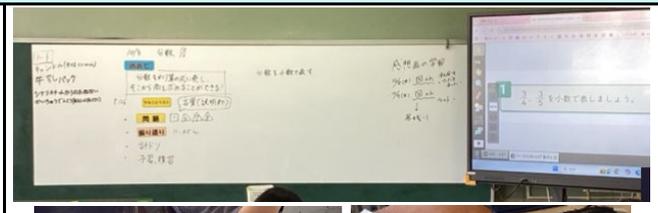
小数×2桁の整数の内容で、教科書のQRコードから動画説明をみて考える場面がうかがえました。（浦添小）

【4年 国語】 「伝統工芸に関する説明文」

説明文の型にそって、自分で調べた伝統工芸品についてロイロノートでまとめ、本のようにまとめていました。（浦添小）



令和7年度 ICT活用好事例集【小学校高学年】

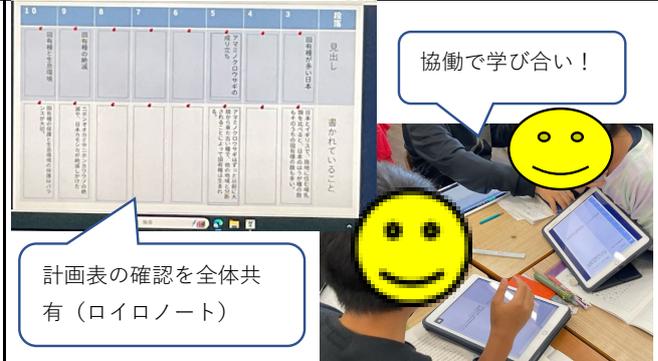


【5年 社会】「日本の工業生産の今と未来」

「これから成長が期待される工業とはどのようなものがあるのか」に関わる全体共有の場面で、NHK for School を閲覧。問いに対するポイントを基に、授業後半はロイロノートでワークシートを配布し、2画面で調べながら解答していました。普段の授業からしっかり活用していることが伺えます。(浦添小)

【5年 算数】

学習者用デジタル教科書を活用し、「説明動画を見て考える」、「キャラクターの吹き出しに注目して考える」などの児童の姿が見られました。デジタルとアナログ（ノート）をうまく使い分けていました。(宮城小)

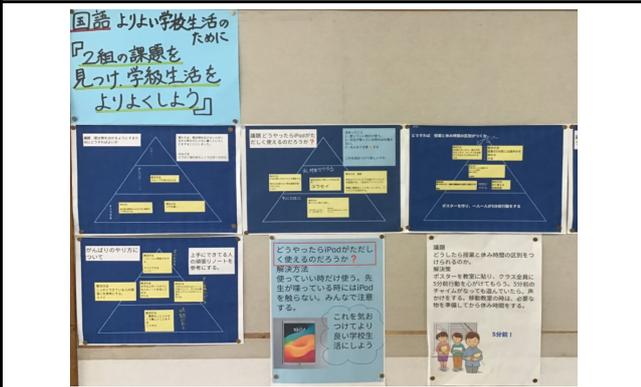


【5年 国語】

下書き作業では、多くの児童がキーボード入力を選択したり、2画面表示でインターネット資料を見ながら下書きに生かすといった行為は、児童が自身の表現活動を効率的かつ主体的に進めるための手段を自ら選び取っている証拠です。(牧港小)

【5年 国語】「固有種が教えてくれること」

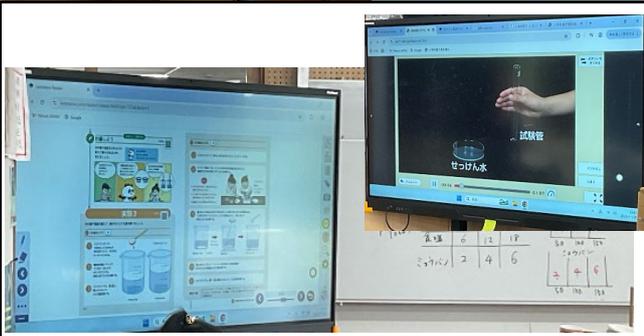
授業の初めで計画表の確認後、見出しに書かれていることは何かを子どもたちと確認していました。教科書をおさえながら、子どもたちが協働でまとめる場面も見られ、内容をしっかり読み取らせることができました。(当山小)



【5年 国語】

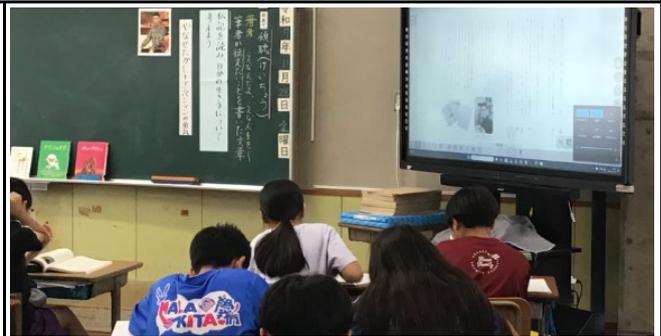
「よより学校生活のために」の学習において、シンキングツールを活用して、考えを整理している様子があり、目に見えない思考プロセスを可視化し、論理的な構成力を高めています。それを掲示することで、当事者意識を高め、児童の学習環境がより豊かで、自立的な学びを支えるものへとつながる好事例です。(牧港小)

令和7年度 ICT活用好事例集【小学校高学年】



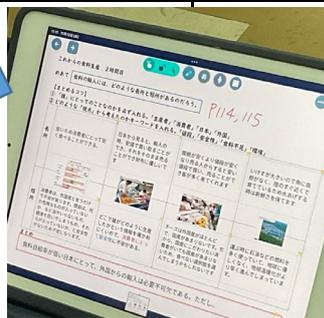
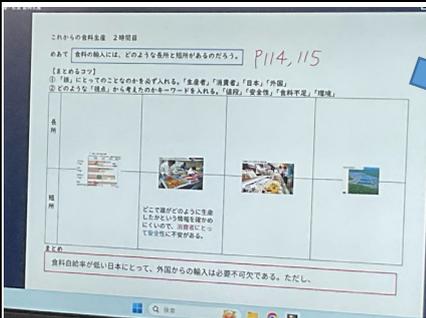
【5年 理科】

電子黒板に動画を提示しわかりやすい説明に繋げていました。また板書とデジタルを上手に使い分けていました。動画の活用は、文字や静止画では伝わりにくい現象や概念を理解させる上で有効であり、教科指導におけるICT活用として評価できます。また、従来の板書とデジタルを使い分ける指導は、教員のICT活用指導力の向上が図られています。(港川小)



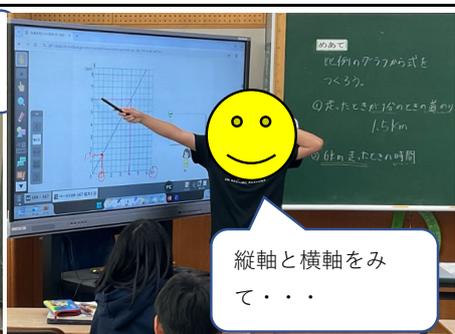
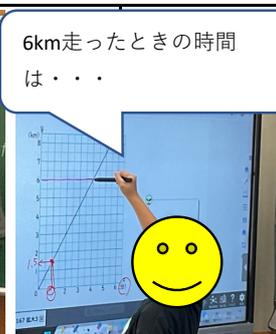
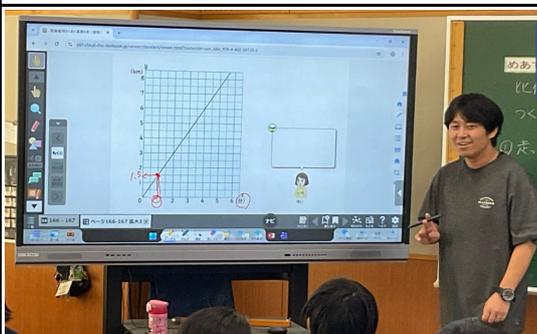
【5年 国語】

伝記の学習で長文を範読する際にデジタル教科書を活用。その間教師は児童の様子を把握。また関連書籍を提示する等、デジタルとアナログを融合させた展開が見られました。デジタルとアナログを融合させ、教師が児童の様子を的確に把握する姿は、「指導の個別化」学習基盤として柔軟に活用する、GIGAスクール構想の理想的な姿です。(前田小)



【5年 社会】「これからの食料生産」

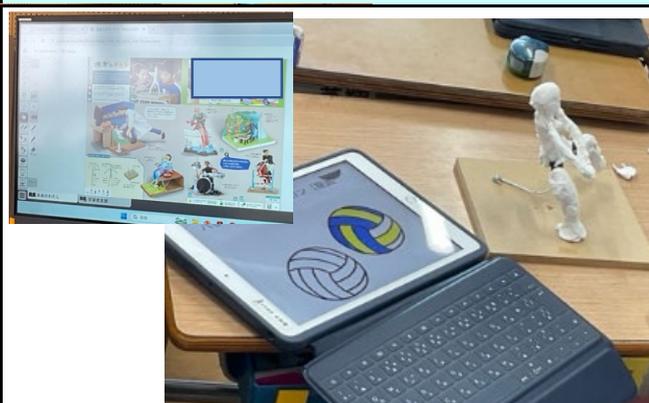
授業の中で、キーワードを基に児童一人一人が長所と短所をロイロノートで表出している場面が見られました。自分の考えを基に、他者の考えを参照する等、協働的な学びを行う姿も見られた好事例です。その後、自分の考えを再構成していた姿も見られました。児童の学習用端末の扱いも慣れており、すべての児童がタイピングでまとめていることから、普段からよく活用していることが伺えます。(沢岬小)



【6年 算数】「比例と反比例」

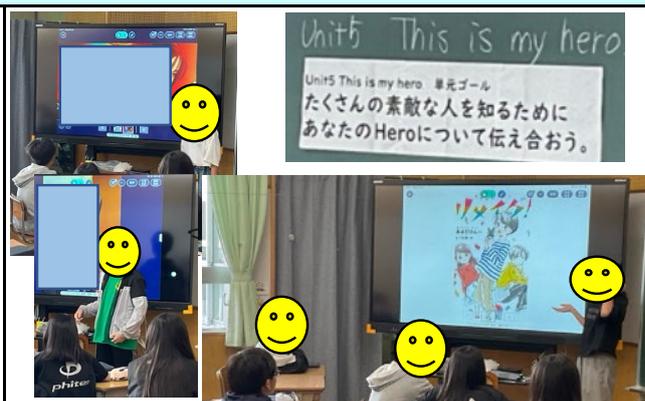
電子黒板を活用して、グラフの読み取りの授業を行っていました。グラフが直線で、横軸と縦軸と交わる点を通っている(中学数学で言えば原点)ので比例のグラフであることを全体共有し、その後「走った道のりが6kmの時間は何分ですか?」との問いに、児童が電子黒板で方法の説明を行っていました。児童たちは直線からy座標が6のときのx座標を読むことを通して、電子ペンで横軸と縦軸に線をなぞりながら時間は4分ですと「用い方の説明」をしていました。児童全員が自分事として捉え、納得した雰囲気となり、効果的な活用を図る好事例であったと考えます。(当山小)

令和7年度 ICT活用好事例集【小学校高学年】



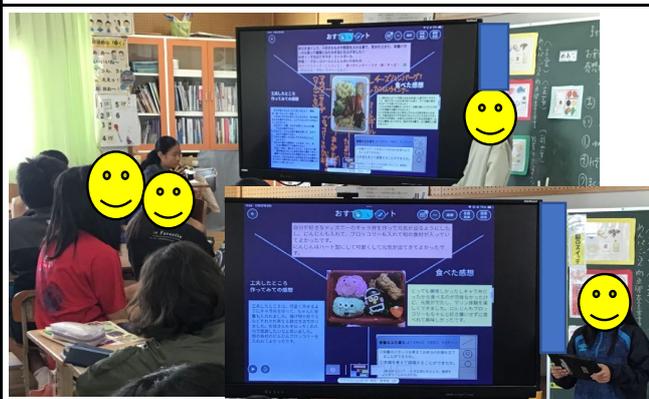
【6年 図工】「未来のわたし」

電子黒板にデジタル教科書を提示しイメージの共有を図り、タブレットを活用して個人のイメージを具現化していました。電子黒板でのイメージ共有は、授業の見通しや方向性を定める上で効果的です。また、タブレットを活用して創造的なイメージを具現化する活動は、情報活用能力の育成の一環として、表現活動におけるICTツールの活用を促進しています。（港川小）



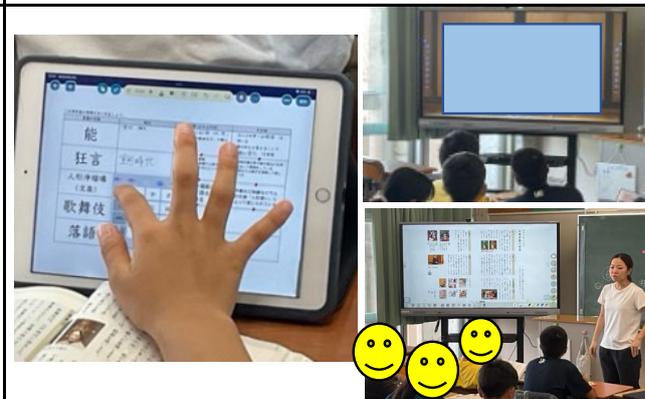
【6年 外国語】「This is my hero」

ロイロノートで自分のヒーローを映し出ししながら、一人一人が英語でスピーチしていました。ロイロノート等のアプリケーションを利用して、自分の成果物を共有しながらスピーチを行う活動は、情報活用能力のうち、表現・コミュニケーション能力を育成する上で非常に有効です。これは教科指導におけるICT活用が活かした実践例です。（港川小）



【6年 家庭科】「お弁当の振り返り」

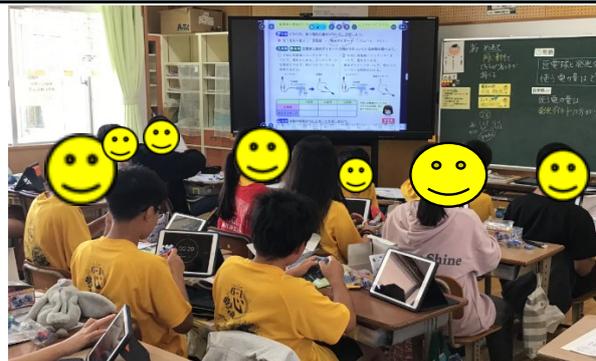
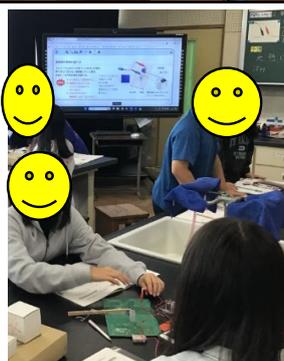
電子黒板に表示しながら発表を行っています。ロイロのシンキングツールを活用し、工夫や想い、感想などをまとめていました。視覚的にわかりやすく、「どうやって作るの?」といった問いが自然に生まれていました。普段の授業から活用していることが伺えます。（浦添小）



【6年 国語】

古典の世界の単元において、デジタル教科書を活用したり、ロイロノートにワークシートを配布して提出箱へ提出させたりとスムーズな流れで行われていた。また、児童になじみが少ない伝統芸能を動画で視聴し実感的理解に繋げていた。（神森小）

令和7年度 ICT活用好事例集【小学校高学年】

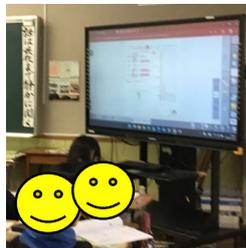


【6年 理科】

電気の学習において電子黒板にデジタル教科書を映し一斉指導。その後、グループごとに実験の様子をタブレットで動画撮影し考察という流れのある展開でした。タブレットでの動画撮影は、実験結果を客観的に振り返り、深く考察する力を育み、「自学自習力」協働的な学びと個別最適な学びの充実を一体的に図る、質の高い教科指導におけるICT活用の事例です。（前田小）

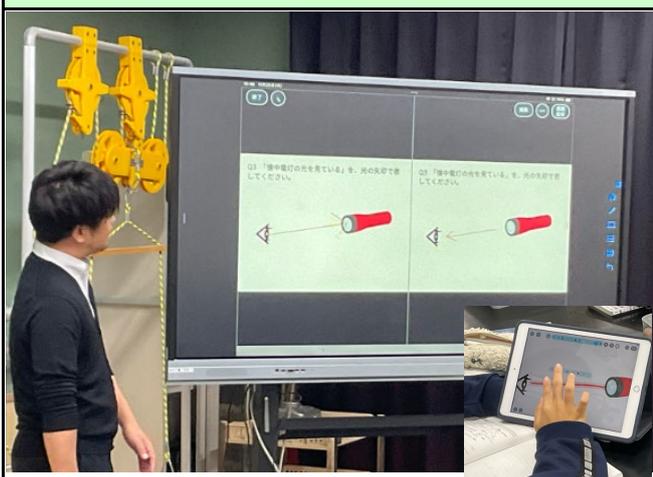
【6年 理科】

「豆電球と発光ダイオードで、使う電力量はどう違うのか？」との問いから、予想し、実験結果を行い、まとめる場面でした。作成した電力キットで誰が長く豆電球を付けていられるかiPadで計測するなど、児童全員が自分事として捉え一生懸命に取り組んでいる姿が素敵でした。（浦添小）



多くの学級でデジタルとアナログを融合させた学習が展開されていました。5年生算数「平均」の学習では実際に歩いた歩数と距離から平均を求める際に、細かな計算をタブレットを使って行っていました。6年生保健「生活習慣病」の学習ではロイロノートと既製のノートを活用し思考の整理に役立てていました。タブレットを計算や思考の整理（ロイロノート）に活用することは、学習を効率化し、児童生徒が自ら学び方を工夫する自律的な学びを促進します。特にロイロノートとノートの併用による思考整理は、「自学自習力」学習基盤としてのICTの活用例です。（前田小）

令和7年度 ICT活用好事例集【中学校】



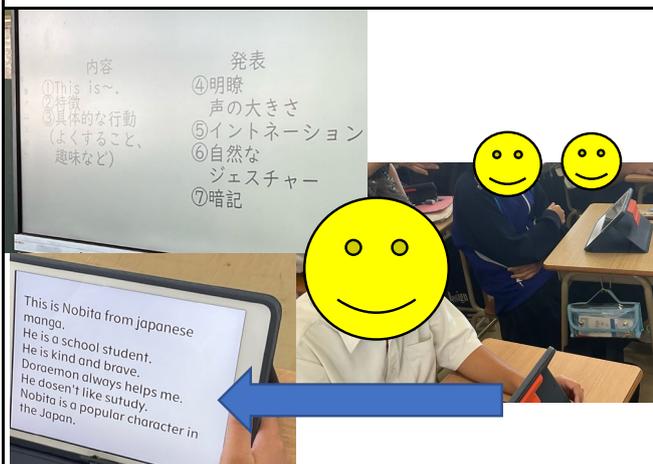
【1年 理科】思考の活性化と協働的な学びの充実

ロイロノートの手書き機能を用いて光の道筋を書き込み提出箱で全体共有する実践や、複数の意見・考えを共有する活動は、ICTが「協働的な学び」を発展させ、学習者の思考を瞬時に集約し、比較検討や整理・分類を可能にするという特長を効果的に活用しています。（浦西中）



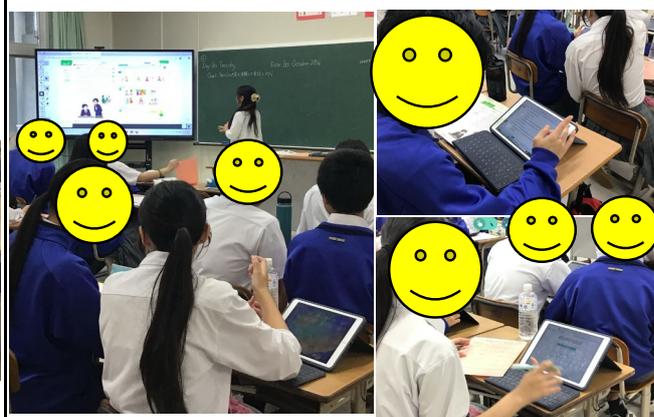
【1年 国語】「聞き上手になろう！」

ワークシートをロイロノートで配布し、本題における工夫や聞き手としてどうしたらいいか、ロイロノートに書き込んだりと個々に任せていました。一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供する「学習の個性化」が見られる好事例です。（浦添中）



【1年 英語】

電子黒板に内容と発表の条件を表示し、生徒各々でタブレット端末を使用し英語の文章のスピーキング練習をしていました。表示の条件通りに、聞き手を意識してリハーサルを行い、生徒一人一人のスピーキング力の向上につながったのではないかと思います。（仲西中）



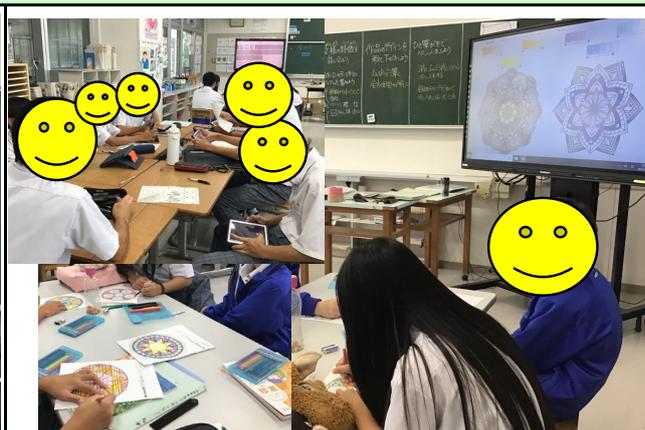
【1年 英語】

授業の準備や展開において、みらいスクールプラットフォームを効果的に活用していることが確認できました。これは、情報共有や学習履歴の蓄積において高い有効性を示しています。電子黒板やプラットフォームによる視覚的な提示や例題提示があり、生徒にとって分かりやすい授業展開がなされていました。生徒は学習用端末のアプリを迷いなくスムーズに活用しており、日頃からの継続的な指導と、デジタル機器に対する高い習熟度がうかがえました。（神森中）

令和7年度 ICT活用好事例集【中学校】



【1年 社会】「稲作がいかにして新しい日本を築いたか」のテーマで、教師が生成AI notebook LMの活用から動画を生成し、子どもたちと共有する場面が見られました。プロンプトも吟味していく必要がありますが、今後も授業の活用に生かしていくことが求められるでしょう。（港川中）



【2年 美術】

学習のねらいや手順を構造的に示しています。これにより、生徒は学習活動の全体像を明確に把握でき、意欲的に取り組めている様子が見受けられました。電子黒板を積極的に活用し、美術作品のイメージや制作過程の具体例などを鮮明に提示していました。これにより、生徒は言葉だけでは伝えにくい作品のイメージを深く理解し、自身の創作活動の参考にできていますと評価できます。ロイロでの自己評価は、生徒は自身の考えを整理しやすく、先生方もリアルタイムで生徒の理解度や評価を確認できるため、効果的なフィードバックにつながる基盤が整っています。（神森中）



【1年 保健体育】

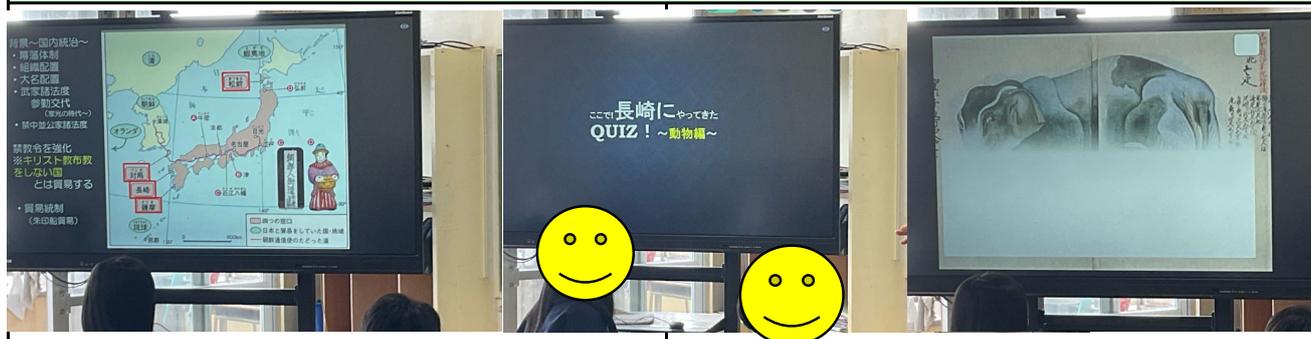
最後の振り返りの場面で、オーバーハンド、アンダーハンドについて各自ロイロノートでまとめる場面です。技能教科においても、実技の振り返りとしてまとめ、いつでも見返してまとめる等、日頃から積極的にロイロノートを活用している様子が伺えます。（港川中）



【2年 音楽】

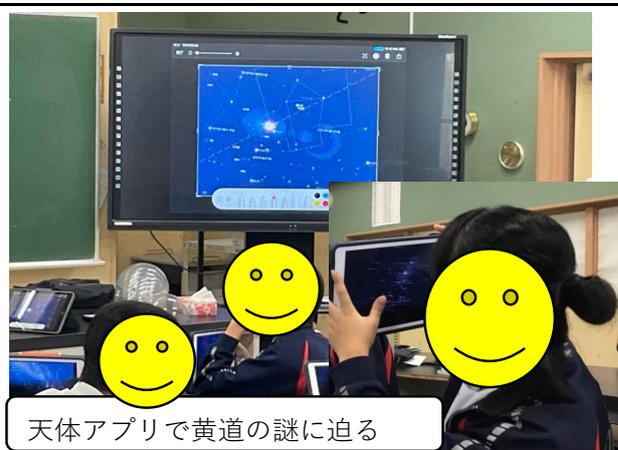
曲の持つ情景や感情を、言葉（文字）、声（歌唱）、視覚（絵）によって多角的に捉え、表現することで、音楽に対する解釈の幅が広がっています。またICTを活用することで、これらの要素をデジタルコンテンツとして統合したり、発表資料としてまとめたりする活動が見られ、生徒の主体的な学びを促進しています。貴校の音楽科におけるICT活用は、単なるツールの使用に留まらず、生徒の表現力、探究心、そして音楽への深い理解を育むための教育的効果の高い手段として機能していると認められます。今後もこの積極的な取り組みが継続され、他の教科への波及効果も期待されます。（神森中）

令和7年度 ICT活用好事例集【中学校】



【2年 社会】

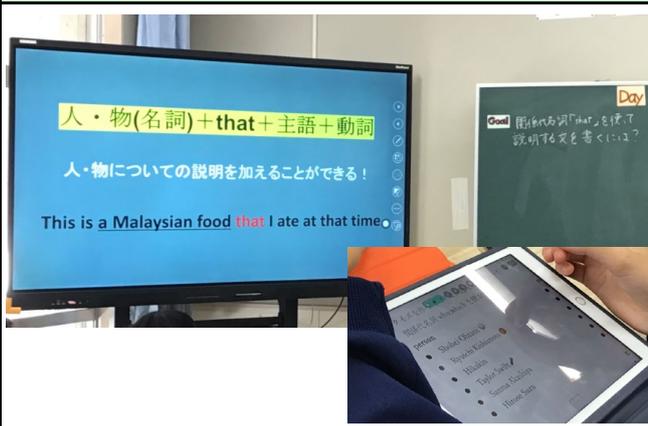
大型提示装置（電子黒板）の活用により、抽象的な概念や地理的な情報を視覚的に提示し、生徒の理解を深めている場面です。また、クイズ形式の活用も見られ、生徒の関心を引きつけ、授業への主体的な参加を促す工夫がなされています。長崎と関連付けたクイズ形式は、生徒の好奇心を刺激し、歴史学習へのモチベーションを高める役割を果たしました。今後は、比較検討活動の強化や多角的な資料の活用を行い、より深い考察を促す場面も工夫されるといでしょう。（港川中）



【3年 左写真：国語 右写真：理科】個別最適な学びの実現への貢献

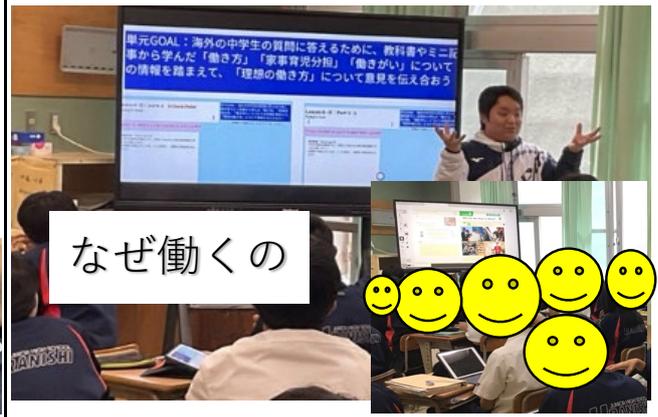
ICTは、全ての学習者の可能性を引き出すために必要不可欠であり、「学習基盤」として捉えることが重要です。蛍光ラインによるデジタル教科書の投影や、授業者が撮影した動画、天体アプリの活用を通じて、学習到達度や認知特性（視覚優位など）に応じた分かりやすい教材を提供している例が確認できます。これは、「個別最適な学び」を実現するために、図や写真、動画などの視覚資料を積極的に活用する教師の姿勢、および多様な学習者のニーズに柔軟に応じる授業を目指す方針に合致しており、ICTの特長を活かした優れた取組です。（浦西中）

令和7年度 ICT活用好事例集【中学校】



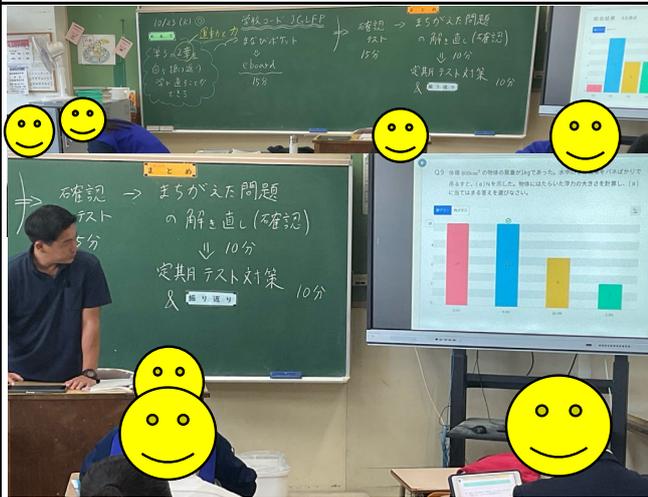
【3年 英語】

学習用端末を使って、生徒一人一人に関係代名詞「that」を使ってクイズ作成をさせておりました。教師用端末からミラーリングして電子黒板に役割等を提示し、丁寧に説明しながらでしたので、どの生徒もスムーズに取り組むことができていました。（浦添中）



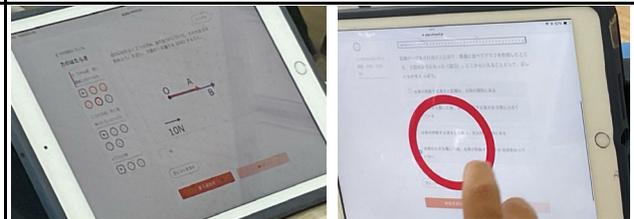
【3年 英語】

電子黒板にショートフレーズを7つ映し、学習の復習と見通しを持たせていました。これは、学習者が目標を達成するために必要なプランニングを支援するものです。単元終末までに育てたい資質・能力を明確に共有することは、学習者が安心して走り出すための指針となり、自立した学習者の姿を獲得するために不可欠です。（浦西中）



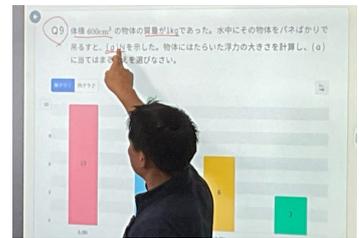
【3年 理科】「運動と力（第2章）」

「自ら振り返り、学び直すことができる」のねらいのもと、各生徒は間違えた問題を解き直しておりました。電子黒板には総合結果を提示し、一人ひとりの生徒が学び直しのために、まなびポケット「e-board」を活用して振り返りを行っていました。その後、全体共有として教師側から1つの問題をピックアップし、「このような問題のときは図をかいて確認する必要がありますね」と単位を確認しながら丁寧に行っており、個別最適な学びを重視した好事例といえます。また、生徒が落ち着いて取り組んでいる様子から、普段から取り組まれていることが伺えます。（仲西中）



まなびポケット（e-boardの活用）

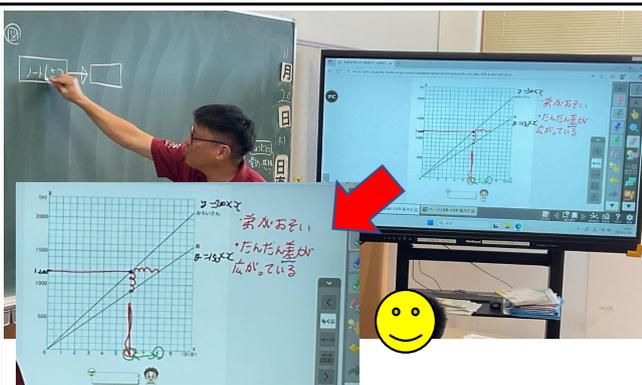
← 全体共有 →
T：応用には図をかいて確認しようね。



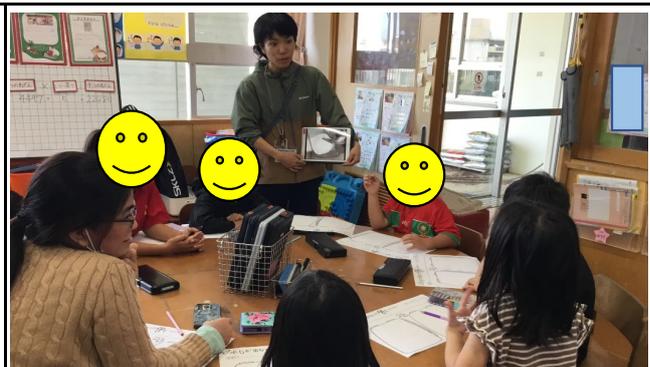
令和7年度 ICT活用好事例集【特別支援学級】



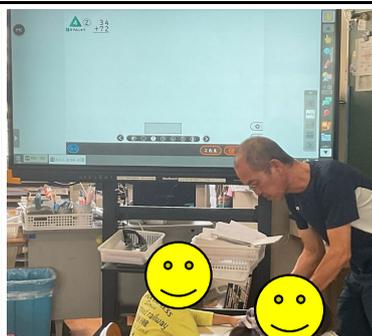
特別支援学級のフロアには、子供達の写真と共に、学びの足跡が掲示されています。学びの記録を可視化し、教育活動の成果を共有することは、教育活動の推進を図る上で重要な実践です。（港川小）



特別支援学級において、それぞれの児童の特性に合わせて電子黒板に教師や児童が直接書き込んだり、線で囲んだりして黒板と連動しながらより効果的に活用も見られました。これからもICT機器を有効に活用して、一人一人のニーズに応じた教材を提供したり、個に応じた指導を展開したりすることを期待しています。（当山小）

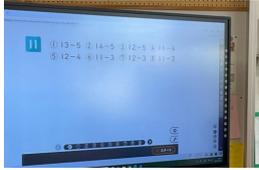
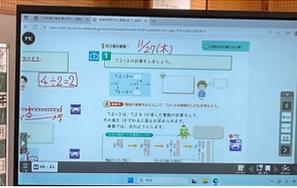


11月末の断水について、教師が家庭での水の確保について写真で提示しながら、災害が起きた時の対処法や行動等について協議していました。ICT機器（写真提示）を活用し、現実の課題（災害対応）について具体的に協議することは、生活的な学びや安全教育的充実を促進します。これも広義の教科指導におけるICT活用として、実生活に役立つ学習の実現に貢献しています。（港川小）



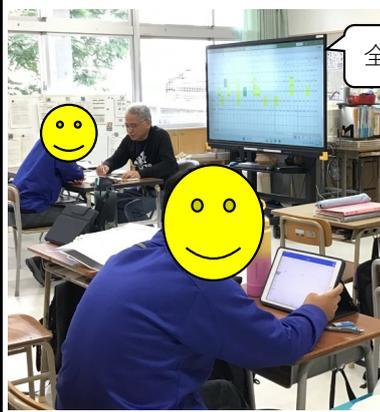
特別支援学級において、それぞれの児童の特性に合わせて学習用端末を活用した「指導の個別化」や、電子黒板で視覚的に授業を展開したりしていました。また、プログラミング授業で「シューティングゲームの作り方」を実践し、ゲームを動かすための「ルール」や「設定」を理解しながら、「タップして☆を上下に動かす」といった自分の意図通りに「動かす」という操作が成功体験ももたらし、自己有能感を高めることにもつながりました。これからもICT機器を有効に活用して、一人一人のニーズに応じた教材を提供したり、個に応じた指導を展開したりすることを期待しています。（仲西小）

令和7年度 ICT活用好事例集【特別支援学級】



どの学級もデジタル教科書を活用し、個別にあわせて、全体共有として習熟を確認したりと、どの児童も意欲的に取り組んでいました。時にはiPadで個別最適な学習に取り組んでいたりする姿もありました。先生もスムーズに操作しながら児童とやりとりしている様子から、普段から活用していることが伺えます。(浦添小)

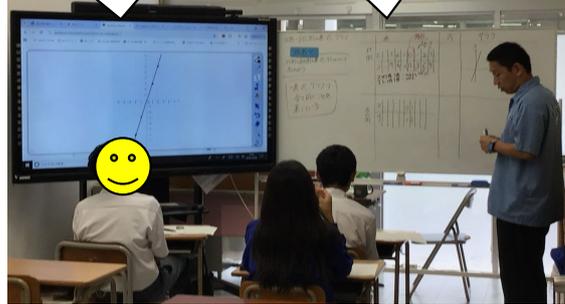
電子黒板にデジタル教科書や動画教材を大きく表示し、視覚的に「わかる授業」の実践に努めていました。ここでは、児童の作品をiPadで写し、電子黒板に投影しながら、かたちづくりを行っている場面で、より効果的な活用が見られました。(沢岷小)



全クラスの時間割を提示



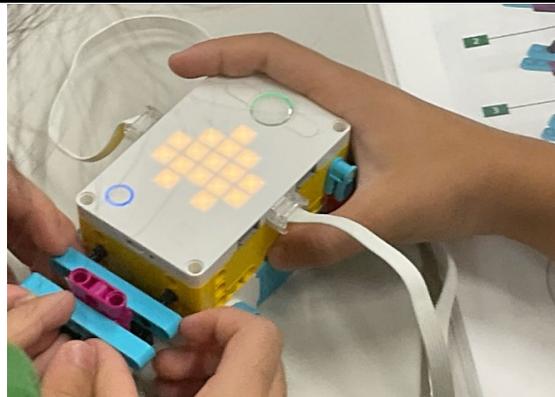
指示棒



ポイント拡大

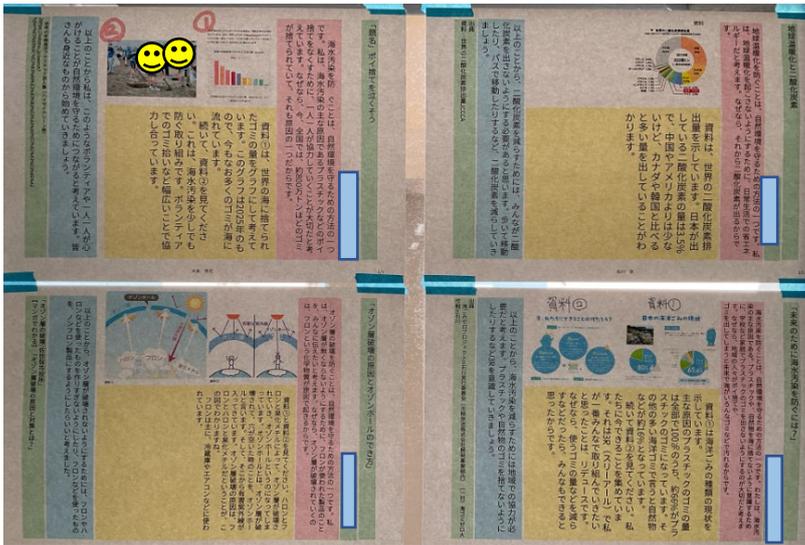
具体的な説明

電子黒板等を用いて時間割を視覚的に提示することで、児童生徒が日々の活動や学習の流れを明確に見通せるよう配慮されていました。これは、不安の軽減や自己調整能力の育成につながる極めて有効な活用です。デジタルコンテンツや提示資料に対する指示棒による焦点化の支援は、視線誘導や注意の集中を促す上で効果的です。アナログな道具とICTを組み合わせることで、情報過多を防ぎつつ必要な情報に注目させる工夫が認められました。電子黒板の拡大機能を用いて抽象的な情報(グラフなど)を明確に提示し、並行してホワイトボードを使い具体的な説明や書き込みを行うというマルチモーダルな指導が展開されていました。これは、抽象と具体の往還をスムーズにし、理解を深めるための優れた実践です。(神森中)



レゴ製品のベーシック版レゴプログラミング教材を活用した授業でした。ユニットの組み立て方について、スクラッチと併せて、どこにタイヤをつけたらいいかなと思考しながら学びを愉しんでいました。仲間と協力して楽しむうちに問題解決能力を育められる教材でもあり、子どもたちも普段からICTを積極的に活用している様子が伺えました。(浦城小)

令和7年度 ICT活用好事例集【その他の事例】



教室や廊下等に児童がICTを活用して作成した作品や係活動のポスターなどが見られました。作品からは、積極的にICTを活用して学習している様子が伝わります。また、他の学級や学年の児童が何気なく目にする事で、自分の作品やポスターをICTを活用して製作する意欲の向上につながる事が期待されます。
 (左上：浦添小、右上：沢岬小)

左下、右下の掲示は学習で身に付けた資質・能力をほかの活動（ここでは修学旅行の取組）に生かしている好事例です。また、ほかの学級の生徒が何気なく目にする事で、自分の作品作りのヒントになる事が期待されます。その土地に行かなければ解決し得ない学習課題を生徒自ら設定し、その計画を立てた上で、現地で見学やインタビューの機会を設けるなど生徒の自主的な学習活動を保障し、事後学習では解決できた部分をまとめ、解決できなかった部分を別の手段で追究する学習活動を行うことなど、一連の学習活動が「探究的な学習」となるよう期待します。(仲西中、浦西中)



廊下に掲示

【学習環境の整備（掲示物等）】

各学年の廊下等にICT活用促進のため、生徒の情報モラルの向上を学校全体で推進していただいている状況が伺えます。このような掲示等を行っていきながら、「事例で学ぶ NETモラル」も活用していただくことで、生徒のモラル・セキュリティの意識向上につながると思います。大変よい事例となります。（宮城小、神森小、浦添中）



4年 国語

教育機会の確保と公平性

別室登校を選択している児童に対しても、教室で展開されている「生きた授業」をリアルタイムで提供している点は、教育の機会均等を具体的に実現するものです。ICTを活用することで、物理的な距離や特別な事情が、学習内容へのアクセスを妨げないように配慮されており、「誰一人取り残さない学び」を追求する強い姿勢が伺えます。（牧港小）

【6年 算数】

ICT 端末に学習課題等を配信することで自宅学習を促進したり、同時双方向型のウェブ会議システムを活用して教師と児童をつないだ学習指導等を行ったりするなど、学びを止めないようにする取組を行うことが今後も大切であり、環境整備が必要となります。（当山小）

